

— 地域社会の再生・活性化において『農学』の果たすべき役割とは? —

農学と地域再生

日時：平成20年10月25日～12月20日（土曜日13時から）全5日間

場所：岡山大学 創立五十周年記念館 農学部

対象者：一般市民・自治体職員・岡山大学学生等

目的：農業からみた福祉の取組及び、産業としての農業とバイオマス利用との関係の現状を実践の現場からの情報に基づいて、産学官民がそれぞれのようなアプローチができるか、新しい取組を考える。

第1回10月25日（土）農学部公開シンポジウム

内閣官房地域活性化推進担当室 企画官	木村俊昭氏
岡山県産業労働部観光物産課 課長	鈴木毅氏
知的障害者更生施設「泉の園」 副園長	名越宗一氏
練馬区農業体験農園「大泉風のがっこう」 主宰	白石好孝氏
笠岡市役所政策部干拓調整課 参事	永瀬秀雄氏
岡山大学大学院環境学研究所 准教授	嶋一徹氏

第2回11月15日（土）
第3回11月29日（土）
「農と福祉」

第2回講師

名越宗一氏（知的障害者更生施設

「泉の園」副園長）

尾崎勝氏（グリーンプラネット尾崎 代表）

第3回講師

白石好孝氏（練馬区農業体験農園

「大泉風のがっこう」主宰）

第4回12月13日（土）
第5回12月20日（土）
「地域とバイオマス」

第4回講師

永瀬秀雄氏（笠岡市役所政策部干拓調整課 参事）

千田雅之氏（独 食品産業技術総合研究機構

中央農業総合研究センター経営計画部畜産経営研究室 室長）

第5回講師

星原達雄氏（真庭森林組合 代表理事組合長）

中島健造氏（NPO土佐の森・救済隊 事務局長）

守安昇平氏（岡山県農林水産部林政課 課長）

どなたでもご参加いただけますが、各回とも一週間前までにお申し込みください。
お申し込み方法は岡山大学農学部ホームページでご確認いただけます。

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/agr>

▶お問い合わせ先

国立大学法人岡山大学農学部

TEL 086-251-8286

地域再生システム論「農学と地域再生」



『福祉』・『バイオマス』がテーマです。

第1回10/25(土)岡山大学農学部公開シンポジウム 『地域づくりにおける「農学」の役割』

—地域再生システム論の役割と可能性—

木村 俊昭 氏 (内閣官房地域活性化推進担当室 企画官)
鈴木 毅 氏 (岡山県産業労働部観光物産課 課長)
名越 宗一 氏 (知的障害者更生施設「泉の園」副園長)
白石 好孝 氏 (練馬区農業体験農園「大泉風のがっこう」主宰)
永瀬 秀雄 氏 (笠岡市役所政策部干拓調整課 参事)
嶋 一徹 氏 (岡山大学環境学研究科 准教授)

第2回講師
第3回講師
第4回講師
第5回コーディネーター

第2回11/15(土) 第3回11/29(土)

『農と福祉』

福祉の現場での農業活用方法と
地域活性化への展開

第4回12/13(土) 第5回12/20(土)

『地域とバイオマス』

バイオマス資源を活用した
地域活性化のあり方

「地域再生システム論」は内閣府の協力を得て岡山大学の学生に開講する科目ですが、大学
教員・学生その他、政府・自治体関係者・NPO団体・農家・林業関係者など幅広い分野でのディス
カッションを行います。第1回の公開シンポジウムだけでなく第2回以降も一般市民の皆さん
が講師の皆さんから提供される課題を踏まえて積極的に議論に参加していただけることを
期待しています。

お問い合わせ先

国立大学法人 岡山大学農学部 教務学生担当
TEL:086-251-8286



第7回岡山大学農学部公開シンポジウム

地域再生システム論
第1回

『農学と地域再生』

- 地域づくりにおける「農学」の役割とは -

平成20年10月25日(土)岡山大学創立五十周年記念館午後1時～5時

～地域再生システム論の概要～

内閣官房地域活性化推進担当室 企画官 木村俊昭 氏

～これからの国土と地域づくり～

岡山県産業労働部観光物産課 課長 鈴木 毅 氏

～福祉作業所における農産物の生産・販売～

知的障害者更生施設「泉の園」 副園長 名越宗一氏(地域再生システム論第2回講師)

～「練馬方式」都市型農業体験農園～

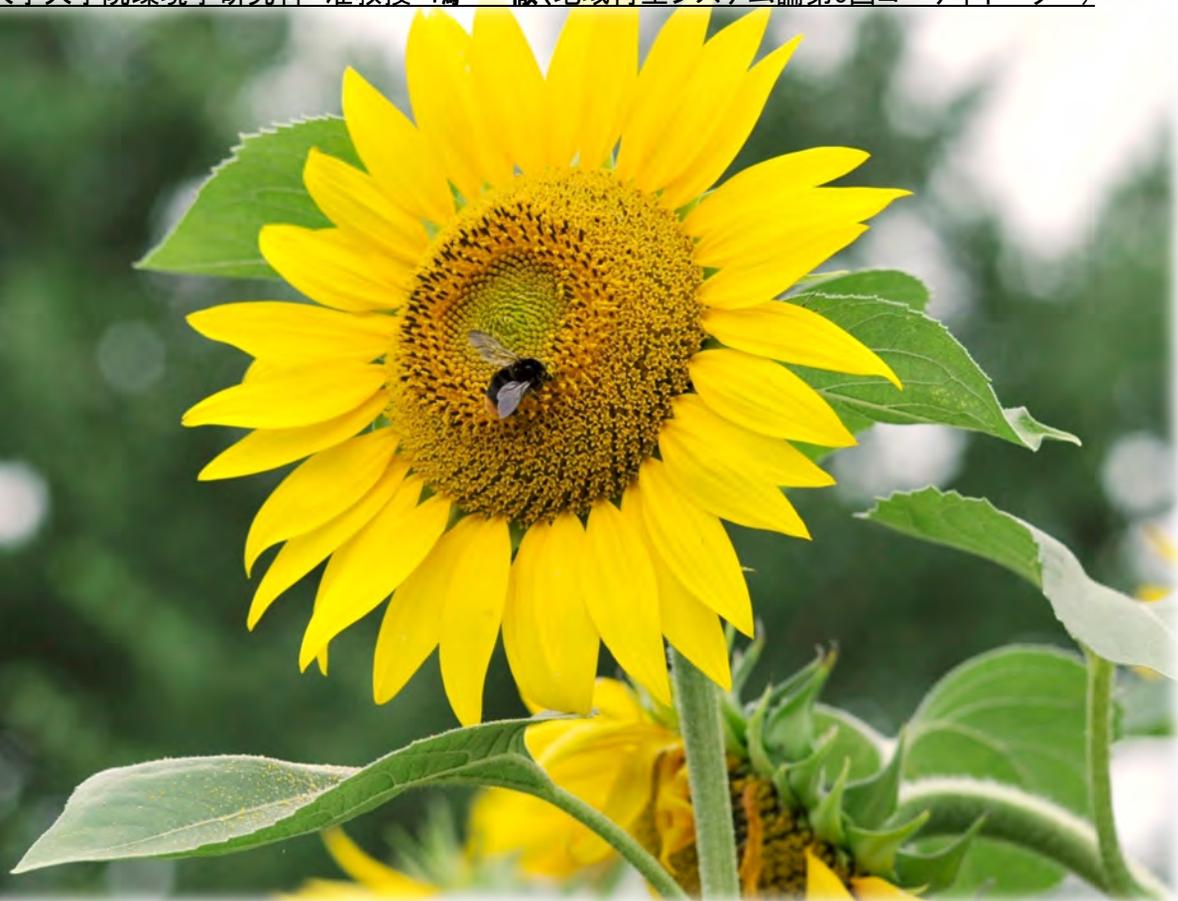
練馬区農業体験農園「大泉風のがっこう」主宰 白石好孝氏(地域再生システム論第3回講師)

～「バイオマスタウン」である笠岡市の取り組み～

笠岡市役所政策部干拓調整課 参事 永瀬秀雄氏(地域再生システム論第4回講師)

～森林・林業の現状と未利用バイオマス資源の有効活用による地域再生について～

岡山大学大学院環境学研究科 准教授 嶋 一徹(地域再生システム論第5回コーディネーター)



今年の農学部公開シンポジウムは、内閣府の協力を得て開講する「地域再生システム論」の第1回目として、「農と福祉」「地域とバイオマス」の2つをテーマに開催します。第2回目以降も積極的にご参加下さい。

お問い合わせ先

国立大学法人 岡山大学農学部 教務学生担当

電話:086-251-8286

ホームページアドレス:<http://www.okayama-u.ac.jp/user/agr>

地域再生システム論 第2回

～福祉の現場での農業活用方法と地域活性化への展開～



2008年11月15日(土)午後1時～4時農学部第4講義室

テーマ: 障害者雇用による農産物の 生産・販売の実態と問題点

～農業は「様々な障害を持った人たちが社会とつながり、健常者とともに働き続ける場」を提供することができます。花壇苗生産の実態を通じて『農と福祉』の今後の展開について考えます。～

講師

名越宗一氏(知的障害者更生施設「泉の園」 副園長)

知的障害者福祉作業所「ネイチャーファーム」における花壇苗の生産と販売

尾崎 勝氏(グリーンプラネット尾崎 代表)

グリーンプラネット尾崎における精神障害者雇用による花壇苗の生産と経営

コメンテーター

石原和子氏(岡山大学教育学部附属特別支援学校 教頭)

中村謙治氏(岡山県備前県民局健康福祉部 総括副参事)

後藤丹十郎氏(岡山大学大学院自然科学研究科 准教授)

コーディネーター

岡山大学農学部附属山陽圏フィールド科学センター

センター長 吉田裕一 (yyoshida@cc.okayama-u.ac.jp)



地域再生システム論 第3回

～福祉の現場での農業活用方法と地域活性化への展開～



2008年11月29日(土)午後1時～4時農学部第4講義室

テーマ:「練馬方式」農業体験農園

都会の農家だからできる子供が育ち、市民が学び、癒しの場となる
“体験型市民農園経営”と“生産緑地保全”の両立

～農家の努力で守り育てられてきた都会の優良農地を「生産緑地」として孫の代まで守り続けたい。その思いが生み出した「練馬方式」と「障害者雇用」を両輪とする農業経営。白石さんの経験と夢に行政の施策と目指す方向を重ね合わせて都市農業の未来について考えます。～

講師:白石好孝氏(練馬区農業体験農園「大泉風のがっこう」主宰)

30種類の野菜を生産販売するとともに、農業体験農園「大泉風のがっこう」を運営されています。また、地域の子どもたちに農業体験をすすめる「NPO法人 畑の教室」の代表でもあります。農業体験農園とは・練馬区が管理する区民農園・市民農園とは異なり、農家が開設し、耕作の主導権を持って経営・管理している農園です。利用者は入園料・野菜収穫物代金を支払い、園主(農家)の指導のもと、種まきや苗の植付けから収穫までを体験します。

コメンテーター

森田健児氏(農林水産省農村振興局都市農村交流課 都市農業室長)

鈴木 毅氏(岡山県観光物産課 課長)

コーディネーター

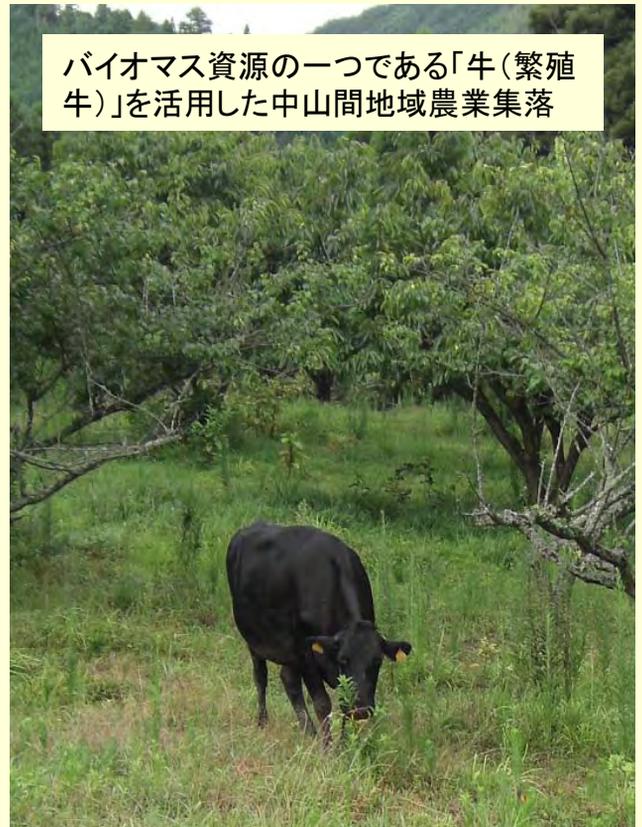
岡山大学農学部附属山陽圏フィールド科学センター
センター長 吉田裕一(yyoshida@cc.okayama-u.ac.jp)



「地域再生システム論」 第4回

～バイオマス資源を活かした地域活性化の可能性～

エネルギー資源としてだけでなく、『地域活性化』の『手段』としての「バイオマス」の可能性に関して、皆さんと一緒に考えましょう！



バイオマス資源の一つである「牛(繁殖牛)」を活用した中山間地域農業集落



広大な干拓地を活用した「バイオマスタウン笠岡」

2008年12月13日(土)午後1時～4時 農学部第4講義室

講師

- ・笠岡市役所政策部干拓調整課 陸援隊グループ 永瀬秀雄氏
「バイオマスタウン」である笠岡市の取り組み事例を紹介
- ・独立行政法人食品産業技術総合研究機構 中央農業総合センター 千田雅之氏
放牧畜産による農林地資源の活用と農村コミュニティ再編の可能性と課題

パネラー 大学院環境学研究科・博士後期課程 竹内重吉氏
:笠岡湾干拓地を事例とした研究の紹介

コーディネーター 岡山大学大学院環境学研究科 駄田井(だたい) 久
(hisashi@cc.okayama-u.ac.jp)

「地域再生システム論」 講義最終回

未利用森林バイオマスの地産地消で地域を活性化する

2008年12月20日(土) 午後1時～4時 農学部第4講義室

岡山には膨大な量の林業系バイオマス資源が未利用で放置されています。
これをエネルギー利用だけでなくマテリアル分野でも有効活用することで、地域を元気にするための取り組みについて皆さんと一緒に考えましょう！

講師

- ・ 真庭森林組合 代表理事組合長 星原達雄氏
「真庭システム」を通じた地域活性化の取り組みを紹介
- ・ NPO土佐の森・救援隊」事務局長 中島健造氏
仁淀川流域エネルギー自給システムを通じた林業活性化を紹介
- ・ 岡山県農林水産部 林政課長 守安昇平氏
行政サイドから森林・林業の振興と地域再生の取り組みを紹介

コメンテーター

- ・ 岡山大学学長 千葉喬三

コーディネーター 岡山大学大学院環境学研究科・准教授 嶋 一徹
(ittetsu@cc.okayama-u.ac.jp)